
Birthday

うゆ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Birthday

【コード】

N3376N

【作者名】

うめ

【あらすじ】

幸せとついう事を忘れてはいけない、そんな感じの日常。

街灯が照らす住宅街をゆっくりとした足取りで歩く僕。いつもと変わらない、そんな帰宅。

空には月が顔を出し、それを取り巻くように黒い夜空が広がっている。雲はほとんど出ていないが、快晴とは言えないような空。

こんな空だっていうのに、蝉達はミンミン鳴いている。この暑い中ご苦労な事だ。蝉の一生は短いと言えどこの時間は休憩をお願いしたい。

ゆっくりと歩いていると向こうの方からザワザワ声が聞こえる。人の姿が見当たらないから家の中だろう。

「ハッピーバースデイトウユー、ハッピーバースデイトウユー――」

声が止むと、軽い歓声と共に部屋に明かりが灯った。カーテン越しにそれが分かった。

「7歳のお誕生日おめでとう」

お父さんらしき優しい声が聞こえた。声の感じからニッコリ笑っている顔が想像できる。

「うん！ あーちゃん7歳になったよ！」

今度は元気な女の子の声。とてもうれしそうに話している。

今この空間は幸せで包まれている、僕はそう思った。通りかかった僕でも、表情が少し優しい顔になる。

僕はまた歩き出す。

カツン、カツン。

誕生日というのは特別な日だ。なにせ1年、365日の中で1日しかない。そんな1/365日に大切な人と過ごせるというのはとても幸せだ。

誕生日に「おめでとう」って言われるなんてすごい事なんだと思う。もちろん言ってもらえない人だってこの世界には存在するからだ。

カツン、カツン。

くだらないようでもくだらないような平々凡々とした日常を生きるこの世の中で、今日も明日もその次の日も。

どこかで誰かが誕生日を迎えている。誕生日という特別な日が幸せという言葉で満たされている。

カツン、カツン。

どんな善人や悪人、幸せな人や不幸な人、恵まれている人や恵まれてない人でも誰にでもやってくる。

人生つまらなくてもいいじゃないか、やっていけなくてもいいじゃないか。けど、自分が生まれたその日ぐらいは少し前を見よう。

カツン、カツン——ガチャリ。

家のドアを開ける。目に差し込む淡い明かり。そして鳴り響くクラッカー。

玄関で待ち構えていた皆が僕を優しく迎え入れる。皆が笑顔、つられて僕も笑顔。

「せいの……誕生日おめでとう」

今日は僕の誕生日。いつもと違う特別な日。肩を叩かれたりワイワイ騒いだり、そんな感じの普遍的な幸せ。

この空間にも普通だけでも大切な、幸せな空間が広がっている。

あなたの周りの友達に誕生日を迎える人がいるのであれば、一言声をかけてみましょう。

「おめでとう。」

相手も自分も幸せになるような、そんなたった5文字の魔法の言葉を

(後書き)

ものすごく久しぶりの投稿になります。書き溜めてるのは別で30分で書いたような短編です。

書き方はものすごい拙いですけど。幸せというものが再確認できたらしいな、と思いながら書きました。

これを見てちょうど誕生日の方はおめでとございます。(笑)

とても短いですが、ここまで読んでくださってありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3376n/>

Birthday

2010年10月8日13時13分発行